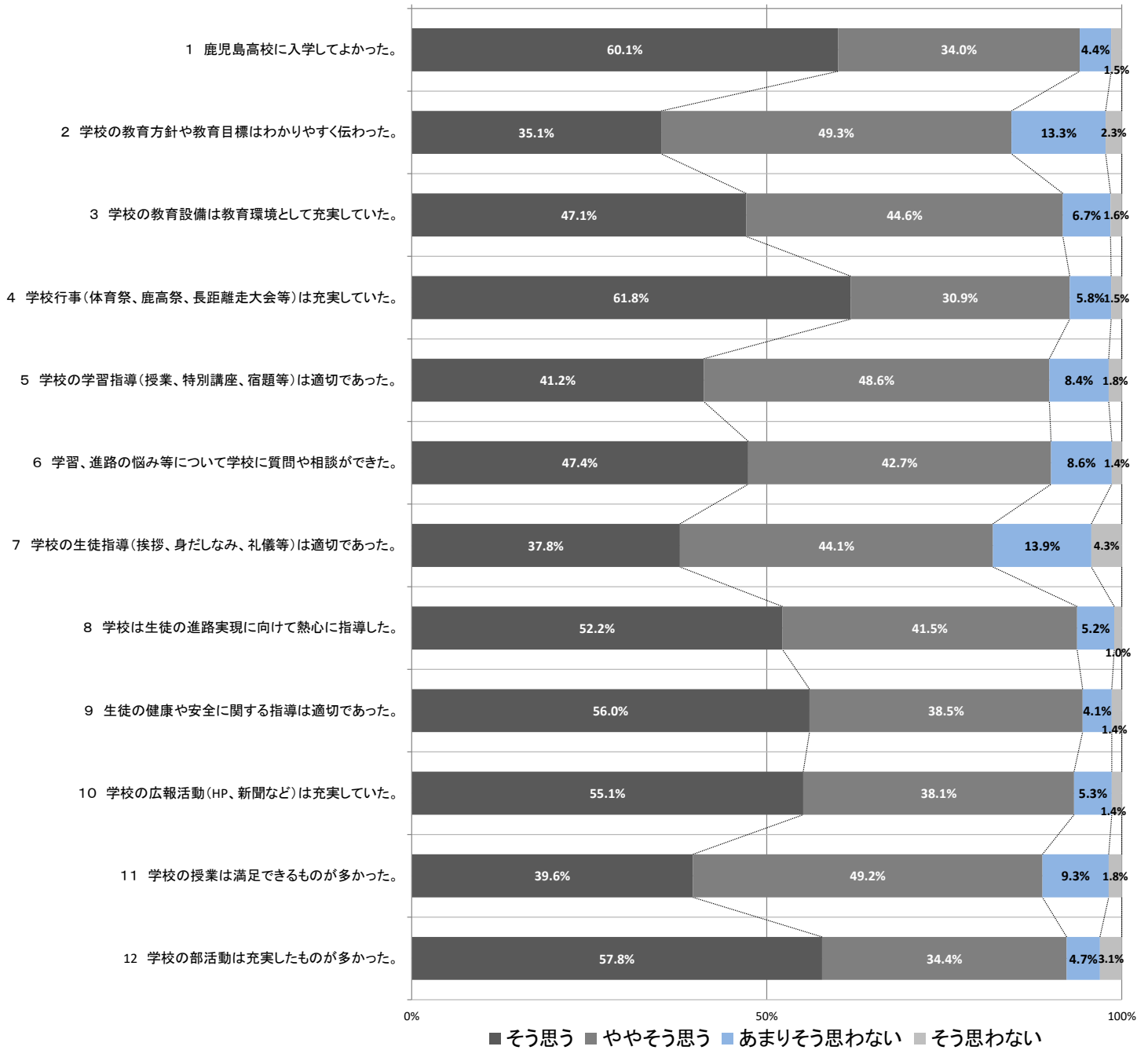
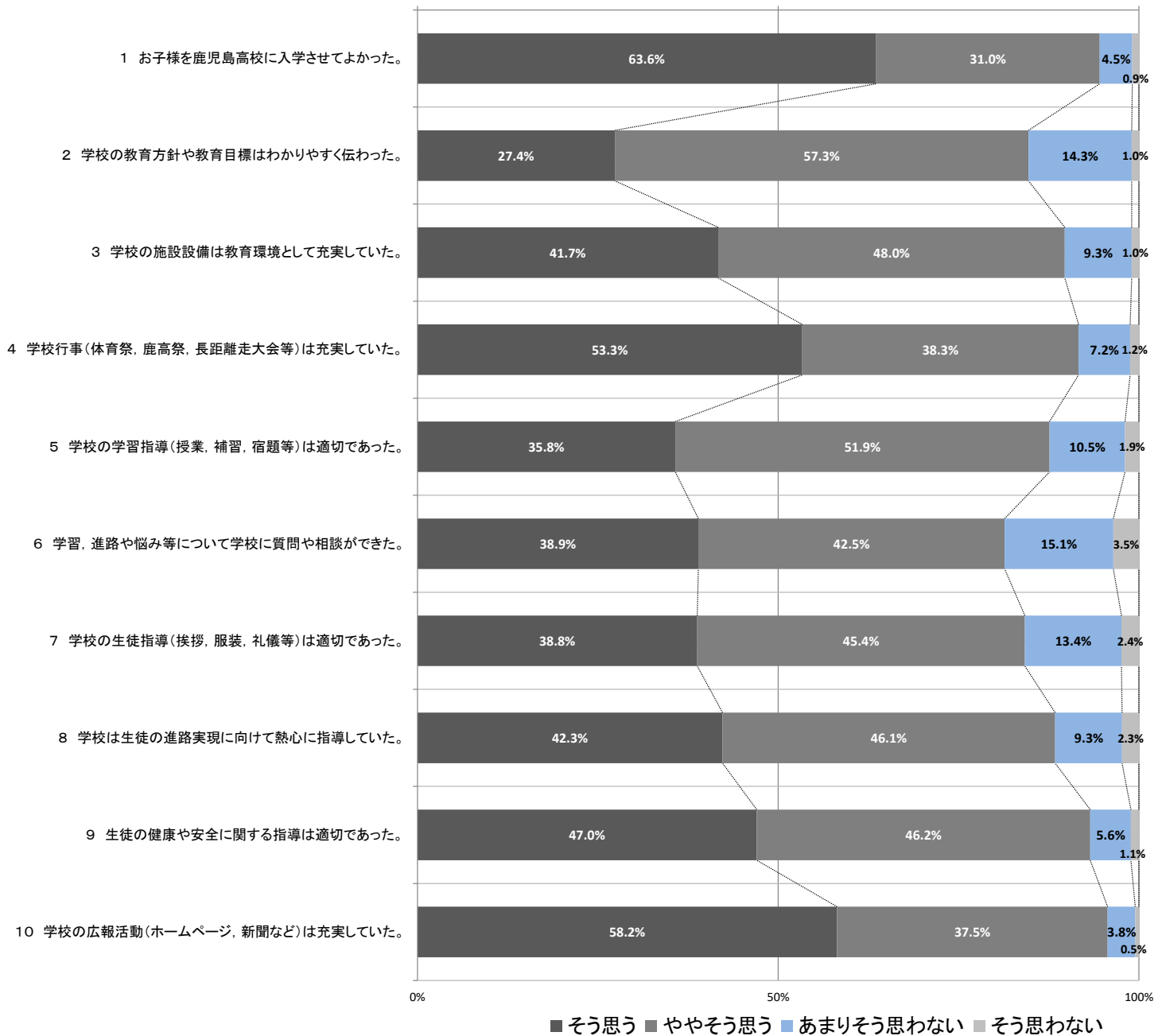


●令和6年度学校評価アンケート結果(生徒)



●令和6年度学校評価アンケート結果(保護者)



令和6年度 学校関係者評価

1 総合評価	
5.0	○アンケートから生徒・保護者の評価の高さがうかがえる。 ○生徒の活動が地域の方々からも評価されている。 AAA
2 学校行事	
5.0	○フランスとの交流事業など県政・市政に協力的である。 ○コロナ中、コロナ後の学校行事に工夫がみられる。 AAA
3 生徒指導	
4.3	○多様な生徒がいる中で、柔軟な対応がなされている。 ○服装の端正や通学マナーでの難点がみられる。 ABB
4 要支援生指導	
4.6	○部署を中心とした教員間の共通理解をはかっている。 ○支援を必要とする生徒に対して個別の対応がなされている。 AAB
5 進学指導	
5.0	○中堅以上の大学合格者数が輩出できている。 ○普通科の国公立大学への合格者が増加している。 AAA
6 就職指導	
5.0	○合格率100%が維持できている。 ○就職した卒業生に対しても相談窓口を開くなどの工夫がなされている。 AAA
7 保健安全指導	
5.0	○保健安全面での指導・喚起が適切である。 ○関係部署との連携が適切で、柔軟かつ組織的な対応がなされている。 AAA
8 広報活動	
5.0	○TVでのCMが大変すばらしいものである。 ○パンフレットなどが入学生の受験動機につなげる成果を上げている。 AAA
9 ICT推進	
4.6	○全学年のタブレットを所有し、全校的な活用がなされている。 ○機材の更新など可能な範囲での漸進化に取り組んでいる。 AAB

4段階評価 A(5点)…取り組みが良い B(4点)…取り組みが概ね良い
C(3点)…取り組みが物足りない D(2点)…取り組みが悪い

令和6年度 学校自己評価①

基本目標・基本的視点・主な具体的取組			担当 課	計 画		評 価				No.
						中間(9月末)		最終(3月末)		
						※2 A~D	実施状況(スケジュールを主に)	A~D	実施結果(目標を主に)	
			スケジュール	目 標						
1 学校ブランド力の向上										
I	進路実現に向けた指導体制強化	独自の探究活動(未来探究)	普通科	4月~3月 「未来探究」	探究活動のまとめとして各学級においての発表体験95%以上(長期欠席者を除く全員) 対象各クラス約35名	B	第1学年において全クラス計画に沿って最終発表に向けて活動中	A	探究活動のまとめとして各学級においての発表体験を対象各クラス約37名中37名達成。(※長欠者を除く)	1
		体系的な学習プランの樹立による国立大学・難関私立大学の合格者増	英数科	4月~ 大学調査・志望校決定 9月~ 応用力・実戦力養成 12月~ 直前対策	理科・社会対策強化 国立大学・難関私立大学の合格者増(国立大・難関私立大合格60%以上)	B	3年生の約8割が国立大学を希望。進路に合った希望制講座の実施。(56名) 共通テスト後、希望に合わせて実施。	B	国立大学受験者現役合格39名(64%) 放課後・長期休業・共通テスト後の希望制講座実施。(国立大61名、私立10名)	2
		インターンシップの活性化	情ビ科	7~8月 インターンシップ実施	①50社以上、145名参加(2年生在籍者数152名) ②生徒満足度肯定評価80%以上	A	7月9日~12日実施 2学年148名在籍 長欠者5名を除く143名が参加)	A	7月9日~12日実施 2学年148名在籍 長欠者5名を除く143名が参加	3
		進路意識高揚・悩みへの早期対応に向けた面談実施	教務部	4月 三者面談 6,10,2月 二者面談 7,12月 三者面談(進級卒業)	進路目標設定2学年末まで 転退学率 2.5% 転退学者数 42名 (在籍者数:1,700名)	A	9月末までの転退学者数 R5:25名⇒R6:15名	B	転退学率 2.8% 転退学者数 48名	4
II	人材育成及び社会全体への貢献	「LHR」等における高大連携及び外部講師の活用	普通科	4~12月 「論述演習」	大学等外部講師の人材活用(年3~5回)	B	高大連携すでに鹿兒島国際大学を含め4校から講師を招き実現	B	高大連携すでに鹿兒島国際大学含め4校から講師を招き実現	5
		自ら課題を設定し、情報の収集・整理・分析を行う	英数科	4月~ 大学との連携 9月 探究成果の発表など	大学との連携授業(年3回) 文化祭での成果発表(全員年1回) コンクール等への成果発表(代表者年1回)	B	3学期に実施予定。 探究発表は10月下旬に実施予定。 自由すぎる研究EXPO2024 入選	B	大学との連携授業実施できず。 2学年 志学館大学主催課題探究大会 KTSテレビ賞受賞	6
		地域連携事業(商品開発)	情ビ科	通年 企業とのコラボ商品開発	コラボした企業側の満足度80%以上	A	6月末~9月(鹿高祭)実施 キッチンカーとのコラボ・販売実習 生徒・企業ともに高い満足度を得ている	A	9月~3月実施 城山ホテル鹿兒島との商品開発・販売実習 次年度以降も企業より要望	7
2 先進的な教育課程の編成										
I	コミュニケーション能力の育成	ネイティブ教員による「英語」「中国語会話」「韓国語会話」の授業	教務部	4~3月 ロジカルスピーキング 4~7月 グローバルスタディーズプログラム 8月 プログラム実施 4~3月 英語検定 対策	年間10回開催 参加者のプログラム後の英語学習 に対するモチベーション維持(9月~3月) ※英語検定合格者総数 英語検定準1級合格者3名以上(R6年度合格) 英語検定2級合格者80名以上(R6年度合格)	B B B	予定通り3回実施出来た。 生徒は課題研究や発表など積極的に参加していた。 事前準備も順調であった。 10月現在の取得状況(累計) 準1級:5名 2級:108名	A A A	予定通り3回実施出来た。 生徒は課題研究や発表など積極的に参加していた。 事前準備も順調であった。 年度取得状況(累計); 準1級:6名 2級:119名	8
		ICTを活用した探究活動の情報収集と研究考察		教務部	4~3月 探究活動の研究結果発表 探究活動の研究結果発表、校外コンクールへの応募	校外での発表 生徒1名年1回(1・2年生)	B	事業計画通り進行し、年間を通しても目標を達成できる見込み。 また、次年度以降の課題は人事・予算等を通して改善案を提案していく。	A	校内での発表会も想定よりもしっかりと実施することができた。 また、3年普通科では探究内容をさらに深化させ、校外でのコンクールに入賞したり、大学入試の総合型選抜で合格をもらった生徒もいた。

※1 具体的取組については、ビジョン事業計画表に記載のもののほか
主なものを記載してください。
※2 A 優良 (計画通り(110%達成)) B 良好(概ね計画通り(90%~109%))
C 要改善(計画遅れ(70%~89%達成)) D 不可 (計画未達成(69%以下))

※3 最終評価で特記すべき事項があれば、簡潔にご記入ください。

令和6年度 学校自己評価②

基本目標・基本的視点・主な具体的取組		担当 課	計 画		評 価				No.	
					中間(9月末)		最終(3月末)			
					※2 A~D	実施状況(スケジュールを主に)	A~D	実施結果(目標を主に)		
3 未来を築く進路保証										
I	未知を追求できる確かな学力と自己決定力の育成	進学指導	年次に応じた計画的進路指導実践 と進路実現に資する能力・資質開発 生徒・教員双方による学習と学力目標の共有、及び目標到達度の評価	7/11/1月 1年進研模試・分析会	1月模試GTZB1超/受験者55%	B	1年7月進研模試で受験生の33.2%(126/380)がB1以上であった。今年度より、7月記述は普通科一般クラスも全員受験であり、仕方のない部分がある。なお、英数科のみは全受験者の92.4%(85/92)がB1以上であった。	A	1月模試GTZB1超/受験者62.3%(109人達成/175人受験)	10
				7/11/1月 2年進研模試・分析会	1月模試GTZB1超/受験者45%	B	2年7月進研模試で受験生の23.6%(89/377)がB1以上であった。今年度より、7月記述は普通科一般クラスも全員受験であり、仕方のない部分がある。なお、英数科のみは全受験者の77.2%(71/92)がB1以上であった。	B	1月模試GTZB1超/受験者41.5%(71人達成/171人受験)	
				5~9月 3年進研模試・分析会	9月模試GTZB1超/受験者35%	C	受験生の25.6%(38/148)がB1以上。基礎力向上が必要。	C	受験生の25.6%(38/148)がB1以上。基礎力向上が必要	
				5月 普・情校外実力テスト	GTZ:受験者60%以上のC階層超	B	普通科は今年度より進研模試を実施。普通科全体で受験生の75.6%(512/677)がC階層以上の成績であった。情ビ科は今年度も基礎力診断テストを実施。情ビ科全体で受験生の29.2%(129/442)がC階層以上の成績であった。普・情合計で受験者の57.3%(641/1119)がC階層以上であった。	B	普通科は今年度より進研模試を実施。普通科全体で受験生の75.6%(512/677)がC階層以上の成績であった。情ビ科は今年度も基礎力診断テストを実施。情ビ科全体で受験生の29.2%(129/442)がC階層以上の成績であった。普・情合計で受験者の57.3%(641/1119)がC階層以上であった。	
				11~12月 推薦・総合受験・合格	推薦・総合受験・合格率85%	B	11月以降実施のため	B	推薦・総合受験・合格率85.1%(251人合格/295人受験)	
				1月 共通テスト受験	150名	B	1月実施のため	B	共通テスト受験者 166名	
				2~3月 国公立大合格	合格者/出願者35%(50名)	A	2~3月実施のため	A	38.6%(58人合格/延べ150人受験)	
				3月 最終進学	難関私立大(A2以上)合格者40名	D	3月実施のため	D	難関大私立大合格者22名	
					進学者/進学希望者94%	B		B	大学・短大は94.5%(362人進学/383人希望者) 専門学校を含むと82.2%(508人進学/529人希望者)	
				II	多様な進路実現のための資格取得とキャリア教育の充実	就職指導	商業や語学を含む各種資格取得対策の充実	通年 全商主催、日商主催検定	卒業時:無資格者:0名(3級~1級) 卒業時:1級資格取得保有率95% 【推奨各種検定】 全商簿記、日商簿記、全商情報処理、全商電卓、全商ビジネス文書、全商商業経済等)	
通年 検定試験前補習		B	検定前の1週間から計画的に実施					B	検定前の1週間から計画的に実施	
通年 SPI試験対策		A	クラス毎に対策/実力試験でも出題					A	クラス毎に対策/実力試験でも出題	
7月 インターンシップ	就職希望者の応募前職場見学参加率100%	A	数回事前指導を行い、7月に4日間実施 参加率100%(148名中)					A	数回事前指導を行い、7月に4日間実施 参加率100%(148名中)	
	応募前職場見学やインターンシップなど体験的学習への取り組み強化		7~10月 応募前職場見学			B	就職訓練と並行して7/22~8/19の期間に実施 応募前職場見学参加率93.1% ※41名(44名中)	B	応募前職場見学参加率93.6% ※44名(47名中)	12

※1 具体的取組については、ビジョン事業計画表に記載のもののほか

主なものを記載してください。

- ※2 A 優良(計画通り(110%達成)) B 良好(概ね計画通り(90%~109%))
C 要改善(計画遅れ(70%~89%達成)) D 不可(計画未達成(69%以下))

※3 最終評価で特記すべき事項があれば、簡潔にご記入ください。

令和6年度 学校自己評価③

基本目標・基本的視点・主な具体的取組			担当課	計 画		評 価			No.	
						中間(9月末)		最終(3月末)		
						※2 A~D	実施状況(スケジュールを主に)	A~D		実施結果(目標を主に)
4 三弧会・部活動のさらなる活性化										
I	学校生活における生徒充実度の向上	クリスマスマッチ、体育祭、鹿高祭の企画・運営	三 弧 会	7・3月 クラスマッチ	学校行事満足度肯定的評価 90%以上	A	7月予定通り実施。総合優勝クラスの表彰も閉会式で行えるよう改善した。	A	3月クラスマッチでは、各競技の表彰を競技終了後に行うことで閉会式の時間を短縮できた。総合優勝の決定方法については課題が見えたため、来年度に解消したい。	13
		SDGsなどの社会的課題への取組		9月 体育祭		A	予定通り実施。保護者 TENT と Youtube 配信は評判が良かった。	A	体育祭、鹿高祭は全ての行事を予定通り実施できた。熱中症対策が課題となるため、体育祭を9月末、鹿高祭を10月末に実施予定。全ての行事を予定通り実施できた。	
II	全国大会で活躍できる部活動の育成			強化指定部制度の充実 部活動顧問の指導力向上		三 弧 会	通年 ベットボトルキャップ・コンタクトレンズ空き容器回収	回収クラス/全クラス=80%以上	B	
		通年 募金活動	募金クラス/全クラス=80%以上		A		緑の募金32,613円(参加率83.7%)	A		
		通年 地域社会と連携した活動	2回以上		B		おはら祭へ110名程度参加予定。	A		
II	全国大会で活躍できる部活動の育成	強化指定部制度の充実 部活動顧問の指導力向上	三 弧 会	4月 新入生オリエンテーション	①入部率70%(全学年)	C	入部率59% オリエンテーションは動線を改善しスムーズな進行ができた。	B	学年別の入部率は1年生64.9%、2年生61.2%、3年生53.1%である。入部率の低い3年生が卒業したため、来年度の全体入部率は上昇すると見込まれる。	15
				7月 全国大会出場者壮行会	②全国大会出場部活動数9(延数20)	A	7(延数9)	A		
				9月 体育祭での部活動紹介	九州大会出場部活動10(延数20)	A	7(延数9)	A		
5 生徒募集の強化										
I	安定した専願入学者の確保	生徒募集活動の充実と強化	企 画 広 報 部	4~10月 体験入学等実施	参加者2,700名以上・肯定的評価95%以上	A	参加した中学生は夏の体験入学は1,000名程度増加	A	夏・秋の体験入学は延べで3,367名。	16
				4~12月 訪問等募集活動実施	入学者の専願者数370名	B	秋はほぼ同数、肯定的評価は夏が96.5%、秋が96.0%	A	夏秋ともに97%以上が肯定的評価、夏は55%、秋の参加者のうち83%が本校を受験した。	
		ホームページの刷新		4~9月 企画・取材・撮影・作成	好意的評価90%以上	B	計画どおり立案、作成、配布できた。	B	大会参加実績、進学実績、就職実績	17
				10月 完成		B	好意的評価は90%	B	学科紹介を刷新。受験生の半数程度が閲覧	
		Web動画・各SNSによる広報活動の充実		4~7月 部活動紹介動画	9月までに1団体 2月までに2団体	B	音楽部の紹介動画を作成、Youtube等で配信(1団体)2月までにあと2つ実施予定	C	学校紹介・音楽部・女子バスケット部の活動紹介動画をYouTubeに公開。それぞれ4,000回程度の視聴	18
7~8月 体験入学動画【新規】Instagram等の活用	8月までに完成		B	予定どおり作成した。インスタ等は行事ごとに配信した。	B	入学式・卒業式・体育祭・文化祭などの短編動画をInstagram、TicTokなどで配信、それぞれ4万回程度の視聴、登録者数はinsta3,388名、TicTokが1,760名となり、生徒保護者からは好意的なコメントを頂いている。				
9月 体育祭・鹿高祭動画	10月中に完成		B	インスタ、TicTok用の動画は体育祭は9月8日、文化祭は9月21日に配信した。	A					
II	高い受験率の実現に向けた入試制度改革	受験生・中学校へ向けた入試データの作成・提供方法の改善	教 務 部	4~3月 資料作成・公立受験校別度数分布表・英数科受験者総点数分布・普通科(5教科受験)受験者総点数分布	受験者数5000名 受験率33%(鹿兒島県内中学3年生) 入学者数510名	B	中学校訪問や学校説明会、入試連絡会で昨年度の内容をしっかりと報告できた。	B	受験者は4,354名で昨年より400名程度減、受験率は29.1%、入学者数は556名で目標を達成。全体的には鹿兒島市内の受験者が減っていた。市外の生徒に減少傾向は見られなかった。昨年の不合格者を鑑みても、選ばれる教育活動を充実させていくことが喫緊の課題である。	20
				9~3月 中学1・2生対象案内	チラシ作成(各説明会) 中学2年生対象・高校授業体験	B	予定どおり作成・配布をおこなった。学校説明会は延べ104校の中学校で実施した。	A	予定どおり、チラシ、学校紹介ポスターなどを作成し、中学訪問の際に配布。パンフを参考にした受験生は全体で63%、説明会を参考にしたと回答し受験生も54%いた。吉野東中での模擬授業(英語)やマナー指導講話にも好意的なコメントをいただいた。	

※1 具体的取組については、ビジョン事業計画表に記載のもののほか、主なものを記載してください。

※2 A 優良(計画通り(110%達成)) B 良好(概ね計画通り(90%~109%))
C 要改善(計画遅れ(70%~89%達成)) D 不可(計画未達成(69%以下))

※3 最終評価で特記すべき事項があれば、簡潔にご記入ください。

令和6年度 学校自己評価④

基本目標・基本的視点・主な具体的取組			担当課	計 画		評 価			No.		
						中間(9月末)		最終(3月末)			
						※2 A~D	実施状況(スケジュールを主に)	A~D		実施結果(目標を主に)	
6 職員の資質向上											
I	高い教育力を有する教職員集団の醸成	初任者研修・経験者研修の実施 キャリアステージに応じた校外研修への参加 研修動画サイトを利用した研修	教務部	4~3月	初任者研修 経験者研修	初任者における一般指導10回 初任者における教科指導8回 (研究授業 2回を含む) 経験者研修における研究授業 1~2回 研修実施率100%	B	漏れなく順調に参加しており、研修報告などをしっかりと提出、発表などがなされている。	B	計画通り実施でき、研修報告も遺漏なく提出された。	21
				7,12,3月	研修の報告書提出	年3回					
II	ICT活用指導力の向上	組織的なICT教育体制の整備 授業力向上を目指す研修実施	ICT推進室	4月	iPad配布・説明(生徒) 授業展開 ネットワーク整備	ネットワークの安定した稼働(通年) アクティブラーナーの稼働率100%	B	ネットワークは安定して稼働している。臨時のwi-fiも適宜開放し活用できている。アクティブラーナーについては、教務部と連携して実施。稼働が100%には満たないが、研修時は80%近い数値となっている。 全体研修は現在3回し、個別研修は10回以上実施している。 Classiノートの稼働率が高いと、運用会社のベネッセから好評価をいただいた。 現在、単焦点プロジェクトとiPadのアップデートの対応に苦慮している。AppleTVに導入を考えたい。	B	ネットワークは年間を通して安定した運用ができた。event用wi-fiも各行事や学習内容によって活用できた。 アクティブラーナーの稼働率は99%(113名/114名)平均学習時間は2時間29分(最高8時間43分最低0分) 最終的に全体研修は4回実施できた。個別研修は把握できているだけで20回ほど実施した。 Classiノートの稼働率は80%を越えた。実施率を今後も上げていきたい。 AppleTVが20台導入できたので、今後活用していきたい。	22
				5月以降	研修	研修実施回数4回以上					
				8月	研修	Classiノート使用率80%以上 (教員・生徒の授業時使用率)					
				10月	研修						
				随時	操作補佐						
7 安定した財政基盤の確立											
I	健全財政の維持・改善と学校教育予算の拡充	収入の安定確保と財政状況改善への取組み	事務室	毎月	督促連絡の徹底 教員との連携強化 滞納者管理の徹底	毎月引落日前の滞納率:3.5% 3月末滞納者ゼロ	A	納入期限日後、各月の滞納者全員電話にて納入の目途について確認を実施。連絡が取れない生徒保護者については担任に協力を依頼するなどし、滞納率削減に取り組んだ。 【各月滞納率(10/1現在)】 4月(0%), 5月(0.4%), 6月(0.2%), 7月(0.4%), 8月(0.6%)	A	滞納者全員に対し、電話連絡にて納入の目途について確認をし、必要に応じて支払い計画に係る誓約書を取るなどした結果、滞納金が期限日までに全員納付されたことから、目標を達成することができた。	23
				4~3月	適正な学級費の管理	教員による学級費の現金管理を回避する(R6年度は1・2年生に導入)導入後の状況を検証 次年度の全学年導入を目指す	A	新規業務の諸経費(学級費)納入業務は、間違いが生じないよう、納入確認担当を管理職教員に協力を得、学年担当者と事務室との連絡調整等が取りやすくなった。これにより、引落しから未納者への督促、先生方から未払者への周知等の流れを確立させた。会計担当者に残高を確認出来る表を作成してもらうことで、各学年の管理表の合計残金と通帳残の合致することが確認できた。	A	クラス副担任における通帳管理及び現金管理等の問題が生じないよう、教員管理職が学級費の徴収内容をチェックし、事務室から提供する納入金額との照合を行うことで整合性が取れているかの確認を相互で確認する方法に変更したことで、通帳及び現金の取扱いに関するリスクを回避できるようになった。令和6年度は、1年生及び2年生を対象に試行し、大きな問題はなかったことから、令和7年度からは全学年運用となる。	
				4~3月	私学協会主催 事務長・事務職員研修会実施	令和6年度幹事校私学協会と連携しながら諸準備を行い、研修会を実施 (開催日:8月9日)	A	今年度「事務長・事務職員等合同研修会」の当番校であったことから、県私立中学校高等学校協会の事務長等と連絡調整を行い、参加校22校41名の出席者のもと、研修会のオーガナイザーを務め、本校職員の協力のもと、当番校として役割を果たすことができた。	A	今年度「事務長・事務職員等合同研修会」の当番校であったことから、県私立中学校高等学校協会の事務長等と連絡調整を行い、参加校22校41名の出席者のもと、研修会のオーガナイザーを務め、本校職員の協力のもと、当番校として役割を果たすことができた。	

※1 具体的取組については、ビジョン事業計画表に記載のもののほか、主なものを記載してください。

※2 A 優良 (計画通り(110%達成)) B 良好(概ね計画通り(90%~109%))
C 要改善(計画遅れ(70%~89%達成)) D 不可 (計画未達成(69%以下))

※3 最終評価で特記すべき事項があれば、簡潔にご記入ください。

基本目標・基本的視点・主な具体的取組	担当課	計 画		評 価				No.
		スケジュール	目 標	中間(9月末)		最終(3月末)		
				※2 A~D	実施状況(スケジュールを主に)	A~D	実施結果(目標を主に)	
	事務室			3月末目標値		3月末実績		
経 常 収 支 差 額				89百万円	経 常 収 支 差 額	217百万円		
当 年 度 収 支 差 額 比 率				6.0%	当 年 度 経 常 収 支 差 額 比 率	13.3%		
人 件 費 比 率				60.1%	人 件 費 比 率	57.2%		
教 育 研 究 費 比 率				30.3%	教 育 研 究 費 比 率	27.2%		
管 理 経 費 比 率				3.6%	管 理 経 費 比 率	2.3%		
基 本 金 組 入 比 率					基 本 金 組 入 比 率	2.4%		

KGI	入 口 (入 学)	入学者数	510名	実績	538名
	在 学 (教育・研究)	生徒学校満足度 肯定評価	93%		93.7%
	出 口 (卒 業)	進学決定率 就職内定率	95% 100%		進学指導室 就職指導室